

# 岡森連時報

発行  
**岡山県森林組合連合会**  
 岡山市北区岡南町2-5-10  
 電話 086(222)7671  
 FAX 086(224)2655  
 ホームページ  
<http://www.okmoren.or.jp>

## 迎春



▶瀬戸内海を昇る日の出  
 (写真元) 晴れの国写真館

新年あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春を迎えることとお慶び申し上げます。

平素から森林組合系統の業務の推進につきまして、特段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、「平成30年7月豪雨」により、県下では多くの人命が奪われ、交通網、ライフラインも遮断される未曾有の被害となりました。亡くなられた方々とともに、被災された皆様、並びにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

林業関係におきましても、林道、造林地等が甚大な被害を受け、一時的に林業生産活動が停滞する事態となりましたが、官民挙げての復旧への取組みに敬意を表する次第であります。さて、木材の利用を推進することは、快適で健康的な住環境等の形成に寄与するだけでなく、森林整備を促進し、地球温暖化や土砂災害を防ぐとともに、地



域経済の活性化に貢献するものです。公共建築物をはじめ様々なところで木材が使われている例を目にする機会が増え、木材自給率は三六・一％と7年連続で上昇を続けておりますが、更なる推進が必要です。

こうした中、今まさに林業・木材産業界は大転換期を迎えようとしています。「林業の成長産業化」を実現するために平成31年度から森林経営管理法の施行、今までにない斬新な「森林環境譲与税」が始まります。これらを大いに活用し、施業の集約化を図り、持続的な森林経営を行うことにより、「林業の



岡山県森林組合連合会  
 代表理事 会長  
 井手 紘一郎

成長産業化」に結びつけていく必要があり、我々関係者の責務は誠に大きいものがあります。

県森連では、合法で適正な森林管理が行われている森林に対して認証されるFM認証林が増加していることから、当会においても流通過程で必要とされる「COC認証」を取得し、林業・林産業の活性化の一助となるよう尽力しているところです。

また、平成28年度から取組を開始した森林組合系統運動「森林・林業・山村未来創造運動」を展開し、木材の共販事業のほか、皆伐・再造林への支援、若い担い手の確保・育成などをより強力に推進しているところでもあります。

さらに、健全で信頼される組織の確立に向け、系統を上げてコンプライアンス体制の強化に、より一層取り組んでまいりる所存です。

今後とも皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶いたします。



### 岡山県森林組合連合会



- |         |        |
|---------|--------|
| 代表理事 会長 | 井手 紘一郎 |
| 副会長 理事  | 森野 茂   |
| 代表理事 専務 | 吉岡 哲哉  |
| 理事      | 西本 健三  |
| 理事      | 竹本 俊郎  |
| 理事      | 井上 稔朗  |
| 代表 監事   | 横木 義弘  |
| 監事      | 長代 直行  |
| 監事      | 小椋 美博  |
| 総務部長    | 實村 文昭  |
| 事業部次長   | 井上 純一  |
| (新見本務)  |        |
| 事業部次長   | 門野 由範  |
| (勝山本務)  |        |
| 事業部次長   | 森岡 保博  |
| (津山本務)  |        |
| 総務部参与   | 有松 和展  |
| 総務課長    | 阪本 明日香 |
| 企画指導課長  | 大山 淳   |
| 業務課長    | 小松 庸介  |
| 新見支所長   | 木村 俊文  |
| 勝山支所長   | 近藤 晃   |
| 津山支所長   | 奥山 総一郎 |
- 職員一同



岡山県農林水産部長  
伊藤 敦哉

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素から森林・林業行政をはじめ県行政の全般にわたり、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

森林・林業をめぐる情勢は、戦後造成された人工林が本格的な利用期を迎え、豊富な森林資源の循環利用に向けて、新たな木材需要の創出や安定的・効率的な国産材の供給体制の構築等により、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の両立を実現することが重要な課題となっております。

県におきましては、「21おかやま森林・林業

ビジョン」に基づき、「伐つて、使つて、植えて、育てる」林業のサイクルを循環させ、多様な豊かな森林を次世代へ引き継いでいくため、一層の県産材の需要拡大、木質バイオマス資源等の新技術開発、低コストで効率的な作業システムの開発による林業の収益性の向上、次代を担う力強い担い手の育成、少花粉スギへの植え替えなどの施策を推進しております。

こうした中、平成三一年度には、森林経営管理法が施行され、意欲と能力を有する林業経営者への森林経営の集積・集約化を図るとともに、経済ベースにのらない森林について市町村が公的管理を行う「新たな森林管理システム」が始まることから、この制度の円滑な実施を図り、森林の適正な経営・管理を推進してまいります。

さらに、平成三〇年七月豪雨では県内各地で甚大な被害が発生しており、被災された農林漁業者の方々の経営再建に向けた支援及び林業関係施設等の復旧に全力で取り組んでまいります。

岡山県森林組合連合会及び各森林組合におかれましては、地域や森林の現状に精通した林業経営の中核的担い手であり、これまでの森林整備に加え、意欲と能力のある林業経営者として収益性の向上と効率的かつ安定的な森林経営に取り組み、地域の森林整備と県産材の安定供給にご尽力賜りますようお願いいたします。

最後になりますが、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

岡山県森林組合連合会



農林中央金庫  
岡山支店長  
熊倉 竜也

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては、当金庫業務につきましては、厚くお礼申し上げます。

昨年、西日本豪雨をはじめとして、各地で大規模自然災害が発生した一年でございました。被災された方々へ謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をご祈念申し上げます。

さて、昨年の世界経済は、景気拡大が続く米国・欧州経済を中心に、全体として底堅い成長が継続してまいりました。

次に、林業を巡る情勢につきましては、持続可能な林業経営に向けた適正な木材価格の実現や担い手の確保などが、依然として喫緊の課題となっております。厳しい状況が続いております。

その一方で、二〇二〇年の東京オリンピック開催に向け、関連施設建設で木材利用が推進されるなど、官民一体となった国産材の利用拡大に向けた取り組みも進められております。

また、平成三一年度税制改正において、森林環境税および森林環境譲与税が創設されるとともに、二〇一九年四月から新たな森林管理システムが導入されるなど、国を挙げたの支援制度も拡充されます。

さらに、ここ岡山県は、全国有数のヒノキの名産地としてその名を馳せるとともに、二〇二〇年の東京オリンピックの関連施設で岡山県産材が使用されるなど、県産材の更なるブランド力向上が期待されます。

当金庫が実施している林業労働安全性向上対策事業では、上期募集に対

して二一三件二四〇〇万円の応募がございました。また、国産材の利用・販売拡大に向けて、産業界・学術界・金融界連携により二〇一六年度に設立したウッドソリューション・ネットワークでは、分科会を立ち上げて課題抽出・解決に向けて活動しており、昨年は、内装デザインを施主に提案するクリエイターの皆様に向けて、木材を使った内装提案に取り組んでいたためのアプローチブックを制作いたしました。

このように当金庫では、林業ならびに森林組合系統の発展に向けて、適切な金融機能の発揮のほか、森林施業の集約化・高度化や国産材の利用・販売拡大に向けた取り組みを進めてまいります。

本年も皆様のお役に立てるよう精一杯取り組みを進めていく所存でございますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びになります。皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



全国森林組合連合会  
代表理事 会長  
村松 二郎

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は、森林組合系統の業務運営につきまして特段のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、豪雪にはじまり、相次ぐ台風の襲来や七月豪雨をはじめとした集中豪雨、そして、大阪北部地震や北海道胆振東部地震など、度重なる自然の猛威に見舞われた一年となりました。残念ながら多くの尊い命が犠牲となり、全国各地で生活・生産基盤や都市・交通機能に甚大な被害が発生しています。

お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災地の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。関係各位の復旧・復興へのご尽力に敬意を表します。

さて、本年五月一日には、平成の御代から新しい時代

へと替わる大きな節目を迎えますが、森林・林業施策についても、この座軸が大きく変わる局面に入っています。

我々森林組合系統の永年の悲願であった「森林環境税（仮称）」及び「森林環境譲与税（仮称）」の創設が決定され、平成三十一年度から市町村、都道府県への譲与が始まる運びであることに加え、森林経営管理法が四月から施行され「新たな森林管理システム」の運用が始まります。

これから森林組合系統は、施業集約化や低コスト化、国産材の安定供給といったこれまでの取組に加え、「新たな森林管理システム」の着実な実施に向け、森林所有者への意向調査や、経営管理実施権ならびに市町村森林経営管理事業の受託などに、全力を挙げて取り組んでいかなければなりません。

戦後我々の先人達が植林した人工林が着実に成熟し、再生可能な国産資源として本格的な利用期を迎える今、新たな施策を有効に活用しながら、今一度「伐って、使って、植えて、育てる」という林業の健全な循環利用を再構築し、森林の多面的機能を十全に発揮させな

がら山村地域に活力を取り戻していく「林業の成長産業化」を強力に推進していくことが重要となってきました。

そして、森林を適切に守り育て、「林業の成長産業化」を推進していくためには、担い手の確保・育成が不可欠であり、労働災害ゼロの実現に向け、林業労働安全の確立をはじめとした労働環境の改善にも取り組んでいかなければなりません。

これらについては、昨年十一月に開催した全国森林組合代表者大会において大会決議を行い、森林組合系統がこれまで培ってきた技術と能力を最大限発揮し取組を進め、組合員と地域の信頼に応えていくことを打ち出したところです。

また、平成二十八年度から取組を開始した系統運動「森林・林業・山村未来創造運動」については折り返し地点を超え、平成三十二年度の最終目標達成に向け、追い込み段階に入っています。森林組合系統の事業実施態勢強化に向け、効率化や事業基盤整備、スケールメリットを活かした供給販売体制の構築、労働安全やコンプライアンスをはじめとした組織体制づくりなど、

林業体験記

十一月に津山市の林業体験へ、十二月には美咲町の林業体験に参加してきました。

普段の仕事では事務所にいることが多く、チェーンソーを使用したり重機に乗ったりする機会がないのでやってみたい！と思い休日に参加させてもらいました。初めて体験することばかりで、何もかも新鮮でも楽しかったです。

また、緑の雇用の研修生の方が指導している姿を見ると、3年間でこんなにも技術に磨きがかかるんだなと改めて感じました。

私自身、林業のことについて勉強を始めたばかりですが、これからも色々な研修等に参加し吸収して、わたしが感じる林業の魅力を発信していこうと思います。（企画指導課 播磨 愛子）



LINE 始めました  
（公財）岡山県林業振興基金（岡森連内）ではこれまで、Facebookでの配信を不定期に行っていました。この度、LINEでの配信も始めました。通常のLINEとは少し異なりビジネス向けのアカウントです。まだ始めたばかりですが、岡山県内の林業体験や林業に関する情報をユーザー（登録者）へ一斉にメッセージ配信していく予定です。ぜひ、お友達登録をお願いいたします。



また、岡山県内で林業に従事している方で配信して欲しい内容がありましたら林業振興基金までご連絡をお願いします。

あけましておめでとう  
森林保険  
本年も森林保険の加入促進等のご協力を  
よろしくお願いいたします。

# 緑の雇用集合研修が終了 新たにフォレストワーカー23名誕生



▶ 研修を修了した  
緑の雇用3年目研修生

平成30年12月6日、緑の雇用3年生の集合研修が終わり、平成最後のフォレストワーカーが23名誕生しました。

緑の雇用では、認定事業体に所属する林業を始めて2年以内の方を対象に、3年間の研修を行い、林業に必要な、知識・技術・安全面などを学びます。中でも労働災害防止については、防護スポン等の着用はもちろん、



▲集材・造材の研修

伐倒作業時の安全確認、退避行動等の重要性を繰り返し徹底しました。  
研修3年目には、高性能林業機械を使用した、伐倒、集材、造材、運搬、さらに作業道作設等のレベルの高い研修を行いました。作業道については、7月の豪雨災害もあり、崩れにくい頑丈な作業道を作設できるように、外部講師より、熱い指導を受けました。  
研修最終日の修了証授与式では、研修生一人ひとりに、感想と決意表明をしてもらい、「林業を続けていけばまた会うことがあると思うので、再会を楽しみにこれからも頑張っていきたいと思います。」



▲グループワークの様子

「早く一人前になって会社を支えていける人間になります」  
「次は指導員として、この研修に来ます」等、頼もしい表明もありました。  
今年の3年生も大きなケガもなく無事に修了することができました。今後も、体調管理等には十分気を付けて、岡山の林業を盛り上げてくれることを期待しています。



▲重機メンテナンス説明

平成31年度県森連木材共販所の日程(1~2月)		
市日	場所	備考
1月7日(月)	勝山→津山	初市
1月11日(金)	新見	初市
1月16日(水)	勝山→津山	-
1月23日(水)	新見	-
1月29日(火)	勝山→津山	-
2月1日(金)	新見	-
2月7日(木)	勝山→津山	記念市
2月13日(水)	新見	-
2月19日(火)	勝山→津山	特別市
2月22日(金)	新見	特別市
2月27日(水)	勝山→津山	-

第1896回 新見共販所市況 平成30年12月21日									
長さ	径級(cm)	杉千円/m <sup>3</sup>			径級(cm)	桧千円/m <sup>3</sup>			
		大曲	小曲	直		大曲	小曲	直	
3M	13 下	-	-	270円 <sup>本</sup>	14	7	9	11	
	14 ~ 16	7	8.5	10.5	15 ~ 16	13	16	19.5	
	18 ~ 20	7	8.5	10.5	18 ~ 20	13	16	17.5	
	22 ~ 28	7	8.5	12	22 上	13	16.5	17.5	
4M	12 下	-	-	370円 <sup>本</sup>	7 ~ 13	-	-	370円 <sup>本</sup>	
	14 ~ 16	6	-	9.5	14 ~ 18	12.5	18.5	20	
	18 ~ 20	8.5	-	10	20 ~ 22	15.5	17.5	18.5	
	22 ~ 28	8.5	-	10	24 ~ 28	15.5	18	18	
6M	30 上	8.5	-	10	30上	15.5	18	18	
	16 ~ 18	-	13	15	18 ~ 20	-	25	30.5	
	20 ~ 22	-	13	15					